

## 慶田盛村に島移りした山陽姓一門の人々

山陽姓大宗宮良親雲上長光（一五八四～一六六一年）と関わりのある人々の居住していた屋敷や墓が、字新川の慶田盛村一带にある。

字新川の慶田盛村には、山陽姓大宗宮良親雲上長光の長男・二世宮良親雲上長重（一六一七～九三年）の妻・鍋山（那部山<sup>11</sup>一六一九～九六年）は、字新川六五番地に居住していた大史氏三世鬚川与人高起（不詳～一六五六年）の二女である。また、その子供たちの三男・黒島首里大屋子長孝（一六四五～八六年）小宗家の屋敷が字新川二八五番地、東の家（アンヤ）に五男・花城与人長明（一六五四～八二年）小宗家の屋敷も二八七番地、前の家（マンヤ）に四男・保里与人長安（一六五一～七九年）小宗家の屋敷も字新川一四番地に所在している。三女の真市兼（不詳～一六八六年）は、字新川一番地の毛裔氏三世登野城与人安核（不詳～一七〇一年）に嫁いでいる。

字新川二九九番地に居住していた三男・梅公姓大宗崎原与人孫廣（一六二〇～六一一年）の長女・茂樽（真那武樽・一六四八～一七二六年）が本家の長男・三世宮良親雲上長好（一六二七～九四年）に嫁ぎ、二女・伊武津思（一六五一～一七二六年）も字新川二八五番地に居住していた黒島首里大屋子長孝に嫁いでいる。山陽姓大宗宮良親雲上長光の妻・比登那志（比戸那志）、比登那志の父・長興姓大宗古見首里大屋子善安（生寿不詳）の墓も字新川二八三番地、山陽姓大宗宮良親雲上長光の妻・比登那志の弟・長興氏二世登野城目差善方家の屋敷も字新川二七番地に所在している。山陽姓大宗長光家譜から十七世紀後半までみると、ほとんどの山陽姓一門の親族は現在の字新川地に居住している人々である。

八重山蔵元時代（一五二四～一八九七年）にも三男の山陽氏三世黒島首里大屋子長孝小宗家や五男の花城与人長明小宗家から分家した小宗家（別有家譜）らが字新川の慶田盛村や付近に屋敷を構えている。

- 2 山陽氏三世黒島首里大屋子長孝（一六四五～八六年）小宗家―字新川二八五番地（1 大宗長光から分家）
- 3 山陽氏三世保里与人長安（一六五一～七九年）小宗家―字新川一四番地（1 大宗長光から分家）
- 4 山陽氏三世花城与人長明（一六五四～八二年）小宗家―字新川二八七番地（1 大宗長光から分家）
- 6 山陽氏四世大濱親雲上長延（一六四五～八六年）小宗家―字新川二九一番地（2 三世長孝小宗から分家）
- 16 山陽氏五世長寛（一六七四～一七四九年）小宗家―字新川八六番地（6 四世長延小宗から分家）
- 11 山陽氏五世石垣与人長岡（一六九五～一七七七年）小宗家―字新川二九八番地（1 大宗長光から分家）
- 14 山陽氏五世長秋（一七〇四～三三年）小宗家―字新川八〇番地（6 四世長延小宗から分家）
- 19 山陽氏六世長邑（一七一～一七二一年）小宗家―字新川二九五番地（2 三世長孝小宗から分家）
- 20 山陽氏五世登野城与人長京（一七二二～六四年）小宗家―字新川二八六番地（4 三世長明小宗から分家）
- 24 山陽氏六世人長敏（一七三三～五八年）小宗家―字新川三〇一番地（6 四世長延小宗から分家）
- 25 山陽氏六世西表首里大屋子長達（一七四〇～一八〇九年）小宗家―字新川二七四番地（4 三世長明小宗から分家）
- 26 山陽氏七世人長永（一七四一～一八一九年）小宗家―字新川九六番地（2 三世長孝小宗から分家）
- 28 山陽氏七世盛山与人長顯（一七八四～一八四六年）小宗家―字新川一七番地（18 五世長京小宗から分家）
- 29 山陽氏八世宮良親雲上長格（一七八七～一八三六年）小宗家―字新川二七七番地（4 三世長明小宗から分家）

往時、現在の字新川地に居住したこれらの山陽姓一族の小宗家（トウニムトウ）を中心に、山陽姓一門の人々が連綿として血族集団的に村を形成し住んでいたと思われる。